



スアラファンタシの皆さんによるコーラス



外国人ミニ相談コーナー



高野太鼓の子供たち



メキシコのピチャータ割り

国際交流協会のインターナショナルフェスティバル2013「世界の国からこんにちは」が10月12日（土）JR船橋駅近くの天沼公園で開催されました。好天に恵まれ、近隣の家族連れなど1300名を超える参加者を得て終日にぎわいました。

イベントはより多くの市民に世界をより身近に感じてもらうことを目的に催されました。松戸船橋市長、田村協会々長、宮実行委員長からも、このイベントが多様な文化を持つ人たちの間での新しい交流を生み、それが更に深まる契機となって欲しいとの期待が述べられました。

メインステージでは、勇壮な高野太鼓を皮切りにいろいろな国からの伝統的な衣装をまとっての歌や踊り、演奏などお国自慢が続き、船橋のばか面踊りも混

じり、まさに国際色豊かなステージが繰り広げられました。更に、アジアの食材を中心にした7つの模擬店、民芸品や手芸品を扱う16のフリーマーケット、各国の面白い遊びの体験コーナーなど大人も子供も世界文化に触れてもらえるお膳立てが多く用意されました。

協会では、更に多くの人たちの活動参加を呼びかけるための広報展示コーナーや国際理解セミナー開催国の紹介コーナーも設けました。アンデルセン公園事務所や船橋商工会議所も独自のブースで国際交流活動の普及を呼びかけました。

でも、お客様から「なぜアメリカやヨーロッパの国々のブースがないの？」との問いかけがありました。今後の活動での一つの課題ではないでしょうか。（写真はP4・P5にも掲載されています。） 広報委員 廣田

“ふなばし市民祭り” 3景

“ふなばし市民まつり”が開催された7月27日午後
に「ジョイ&ショッピングフェア」コーナーの、本
町と宮本通りを散策した。目についた3景について紹
介したい。

気温は32℃に達して、夕方には両国の花火大会が大
雨で中止されたほど、あの蒸し暑い、照り付ける天候
であった。露店では約210の団体が出店して、お祭り
ムードの各種コーナーやイベントで盛り上がっていた。

先ず目についたのが、スクランブル交差点近くに張
られたテントである。「船橋西ロータリークラブ」と書
かれたテントの中に、「街頭無料相談^{たすき}」の標をした多くの
相談員がいて、当協会の仲間もチラシ配布や、相談
の実務をしていた。思わず遠くからシャッターを切っ
た。暑い中での奉仕をご苦労様と、遠くからエールを
船橋西ロータリー
クラブ



インド人経営のフリーマーケット

送った。

その近くにイ
ンド ベンガル地
方のオリジナル
商品を、マネキ
ンを使ったり、
鏡で衣装を見立
てたり、夏柄の

しゃれた服を着たインド人経営のフリーマーケットが目立った。

再び、スクランブル交差点を西方面に渡り、商工会
議所向い通りの歩道にオープンしてる「韓国式居酒屋」
と「中国料理居酒屋」のテーブルは、つねにお客の注
文に追われていた。 広報委員 中谷



韓国式居酒屋と
中国料理居酒屋

国際理解セミナー ～世界の国からこんにちは～ ミャンマー編

9月12日(木)きららホールにて“国際理解セミナー、
ミャンマー”が開催された。

講演会場の前には華やかなカレンダーや写真、漆器
に盛られた食べ物（これはあとでイイキンさんから紹
介される）、それに竖琴も展示してあった。

まず、船橋在住の平山イイキンさんによる料理を中
心としたミャンマーの暮らしについてのミニスピーチ
と踊りがあった。朝食には米粉のそうめんを食べるこ
とがよくあるそうだ。また、発酵させたお茶の葉を中

心に揚げたピーナッツやニンニク、ごまをお茶受けや
おつまみにするという。発酵茶葉を食べるのは現地独
特の利用法だそうだ。

休憩の後、予定されていた大使は急用のため、代わっ
てウィン・アウン公使による講演。主にミャンマーの
地理や歴史、観光地、政治制度などビデオを使い、説
明された。投資についてのお話もあったが、国民の日
常生活や文化についてお聞きできなかったのは残念と
いう声もあった。 広報委員 阿部



講師：ミャンマー連邦共和国 駐日公使 ウィン・アウン氏（前列
中央）を囲んで

講師により
スライドでの
ミャンマー国紹介、
左端は通訳



満席の会場

外国人のための「防災体験ツアー」に参加して

日時 2013年6月30日(日)

場所 東京都墨田区 本所防災館

今年の防災体験ツアーは、錦糸町駅から徒歩15分の「本所防災館」で行われました。我々13名(うち外国人7名)はまず、「東日本大震災」の映像を通して、自分たちがなにをしなければいけないかを教えられました。次は「煙体験」。2班に分かれての対抗戦は、両者とも「姿勢をもっと低く」の注意3回で引き分けでした。「地震」の体験は、震度7で行いましたが、縦揺れよりも横揺れが長く続く方がこたえました。続いては「消火体験」です。自分の家で火事が出たら取りに行く余裕は無い。「自分の家で火災に備え、消火器を用意してください」という言葉には納得させられました。

最後の暴風雨体験コーナーでは長靴・レインコートに身を包み、ガラス張りの部屋へ。風速30メートルの台風体験は、高速道路で時速100kmの車の屋根に立っているのと同じとの話で、改めてそのすごさを感じました。

当日は天気にもめぐまれ、皆楽しく体験する事ができました。来年は、もっと沢山の人の参加して欲しいと思います。

総務委員 片桐 卓



地震体験



暴風雨体験

避難所宿泊訓練(8月24日/25日)

外国人避難所宿泊訓練が8月24・25日船橋市立習志野台第一小学校で行なわれました。今回は外国人26名の参加があり、午後4時に避難所である習志野台第一小学校の体育館に集まりました。体育館の床に各自シートを敷いて身の回りを整理した後、災害時外国人

サポーターから質問を受けたり、消火器の使い方、救命救急の心臓マッサージのやり方やAEDの使い方、非常食の作り方などを体験しました。

この宿泊体験は毎年行なわれていますので、日本語教室の学習者の方を含め、外国人の方にも是非積極的に参加して頂きたいと思います。 広報委員 塚原



消火器の使い方練習



非常食の調理



外国人への聞き取り



心臓マッサージの練習



朝の体操の様子



楽しい夕食

世界の国からこんにちは!!

インターナショナル

2013.10.12

模擬店



田村会長挨拶



サンバ演奏 神田外語大学の学生



中南米の踊り



中南米の音楽演奏



アフリカジャンベ演奏



フィリピンバンド



6kmウォーキングに挑戦した子供の



京劇 孫悟空



ばか

展示コーナー



メキシココーナー



ウクライナ展示コーナー



中国茶はいかが

ふなばし国際フェスティバル

天沼井天池公園

ステージ



南インドの踊り



ミャンマーの踊り



宮実行委員長



健舞人のよさこいの舞



インドネシアの踊り



インドネシアの踊り



面踊り



子供よさこい



白狐の舞

フリーマーケット



フリーマーケット エジプト



フリーマーケット ボーイスカウト



フリーマーケット



フリーマーケット

遊び・その他



国際理解セミナー展示コーナー



文化交流展示コーナー



国際交流協会展示コーナー

短期日本語速習講座

この講座は約3ヶ月間の短期間で日本語初級レベルの日常会話を習得する講座です。

第1期
5月16日(木)
7月23日(火)

6月11日(火)の街歩きは授業の実習編として行なわれました。
市役所から駅までの主な場所や店を回りながら、学習者が習いたての日本語で挑戦しました。

日時	6月11日(火) 9時20分～11時45分
コース	市役所(集合)→①本町通郵便局→②勤労市民センター→③ダイソー→④東武デパート→⑤マクドナルド(食事後解散)
タスク	①80円切手を6枚買う ②トレーニングジムで利用方法を聞く ③グラスを10個買う ④日本語の教科書売り場を聞く ⑤皆をマクドナルドに誘い、二人分の注文をする
参加者	11名 うち学習者5名(中国人4名、イギリス人1名)、ボランティア6名

曇り空の朝、市役所のロビーに全員集合し、まずコースと各自のタスクについての説明を受けました。5人の学習者はボランティアとペアになって、まず郵便局に向けて出発。窓口で順番を待ち、何とか切手を購入。

外へ出ると、待っていた全員が拍手！次は勤労市民センターのトレーニングジムへ。3階の受付に行き、利用方法について尋ねる。切符売り場、ロッカー等について聞き、休みの日を確認、パンフレットもゲット。その後は駅前通りのダイソーへ。3階のグラス売り場に行き、全員にグラスを一個ずつ選ぶように伝え、10個をまとめて、1階のレジで購入。今度は東武デパートへ。案内所で本屋があるか尋ね、5階の書店に行く。日本語の教科書売り場を店員に尋ね、自分の教科書などを確認。1階に戻り、最後の目的地マクドナルドへ。店内では、学習者が各自二人分を注文。食事しながら、今日のコースを振り返り、家族や故郷のことなどで話が盛り上がりました。全員何とか無事タスクを完了し、晴れがましい笑顔で解散となりました。

日本語教室委員 桑原 裕子

第2期
10月10日(木)
12月17日(火)

11月19日(火)は、市役所114会議室で授業が行われました。
今月は漢字の練習から始めました。

今日の参加者は学習者5名、支援を行うボランティア4名。メインのボランティアが先生として前に立ち、解らないことがあると他のボランティアが都度フォローしています。

学習は、曜日を表す漢字からスタートしました。確かに目にする機会も多く、また解らないと生活に支障があります。字の成り立ちを絵で理解した後、お手本の上に白紙を置いてなぞります。中国出身の学習者にとっては難しい字ではないのですが、日本とは書き順に違いが。「火」を左右の点からでなく、左の点、人、右の点、と書くようです。日中どちらが正解か分かりませんが、カルチャーショックでした。

今日のテキストのテーマの一つは「家族」。「お父さん、お母さん、お姉さん、ご主人」などの名称を覚え

た後、自分の家族については「父、母、姉、主人」などと別の表現をしなければならないことを学習。「失礼ですが、ご家族は?」「4人です。父と母と私と妹です」「お父さんとお母さんと、妹さんと〇〇さんですね」といった会話を、学習者どうしても繰り返して行いました。

「とにかく実際の役に立つことを念頭に、テキストもオリジナルで作っています」という講座代表の浦和さん。これまで全18回だった講座に最近では2度の「街歩き」実践の日を加えるようになり、学習者に好評だそうです。この教室での学習を足がかりに、皆さんが一日も早く日本に、船橋に馴染んでくれることを願ってやみません。

広報委員 福岡

諸外国の仲間と気軽に「新年会」のご案内

Let's have a potluck party of the New Year in 2014 with world's friends

当協会文化・交流委員会が下記要綱にて国際交流「新年を祝う会」を企画しています。

日時(Date&Time): 2014年1月26日(日)

11:00～14:30

場所(Place): コミュニティスタジオ「アートマン」新京成、薬園台駅から徒歩6分。

会費(Fee): 無料(Free) ですが、料理・飲み物・

デザートなど1品ご持参ください。

歌あり、かくし芸あり、餅つきありの自由広場で、外国人の方も友達や家族と一緒に参加して楽しみませんか!!

問い合わせ先(Contact): 荒谷委員 047-462-5727

携帯: 090-8453-9713

高校生の時にカナダへホームステイをしたことをきっかけに、長期留学の興味を抱くようになりました。ようやくその夢が叶って幸せです。夢を叶えて下さった船橋市国際交流協会の方々、誠にありがとうございました。もうあと1か月もしないうちに出発ですが、「これから長い間海外で過ごす」という実感がわきま



せん。期待で胸がいっぱいですがその反面、ホームシックやイーストベイ校に馴染めるかなど、不安もあります。以前ホームステイを経験した際には周囲に友人も多くいて、数週間で家へ帰

るという状況であったため、今回のように友人もおらず、9か月間も両親や家族と離れて生活することがまだ想像ができません。しかし、甘える相手もいなければ、日本語を話す仲間もない状況で長期間過ごすことは自分自身を成長させるいい機会になると感じます。

また、私は船橋市を代表してイーストベイ校に留学することになり、責任も感じています。現地では勉強はもちろん、現地の方々との文化交流などに積極的に励みたいと思います。

留学の夢が叶った上は落ちこぼれることなく、自己管理・体調管理はもちろん、様々な国籍、文化の人たちと積極的に触れ合い、語学力、コミュニケーション力など多くのものを取得し、充実した9か月間にしようと思います。

平成25年8月21日

井村 咲子

**井村さんは現在、
ハイワードイーストベイ校で勉学中です。**

(今年度の募集は、P8に掲載されています)

にほんごきょうしつしょうかい 日本語教室紹介シリーズ

「来た人は断らないんですよ。それぞれのニーズに合った授業を心がけています」という宮本教室。本日の参加者は約20名、レベル別9グループに分かれて教室はスタートした。

初級では5人の学習者さんがテキストの問題を解いている。「電話は（ ）ですか。あそこです。」正解はもちろん「どこ」だが、返事が「あそこ」なので「どこ」が良い、また「どちら」ならより丁寧、と支援者は解説。また別のグループでは「明日来る『か』分かりません」などの場合の『か』の使い方を取り上げている。…日本語を外国語とし



No.6 宮本公民館

(土曜日 12:45 ~ 14:45)

て習うとそうなるのか、と新鮮な思いだった。

一番上級のグループの教材は日経新聞の記事だという。2人の学習者さんはどちら



もIT関連企業にお勤めだそう。「すでに日本語力は十分な方たちなので、日本の経済や文化などの『事情』を知りたい、という要望に応じています」と支援者歴14年のSさん。「楽しいですよ。自分も勉強ですしね」とにこやかに語ってくださった。

支援者1人に学習者2~3人というグループが多く、支援者との話も弾んでいる様子。そこそこで時折笑い声上がる。皆さんがそれぞれに日本語を一生懸命繋いで話す姿に心を動かされた。ここでの学習が実を結び、皆さんの日本での生活が一層充実したものになることを祈りつつ、教室を後にした。

広報委員 福岡

「ふなばし市民活動まつり」に参加

9月21日にフェイスビル5階の市民活動サポートセンターと6階きららホールで「ふなばし市民活動まつり」が開催された。これは同センター開設10周年事業として行われたもので、日頃センターを利用している66の市民活動団体がパネル展示やブース出展、模擬活動、通常の活動を映像や画像でプレゼンテーション、あるいは実演などを通じて各グループのPRを行った。

委員会などで頻繁にセンターを利用している当協会

もパネル展示で下記のようなPRに努めた。

・委員会説明 ・イベントの写真
・姉妹、友好都市紹介
・災害時外国人支援グループ紹介
・10月12日のフェスティバルや協会ちらし
・協会ニュース



国際交流協会展示パネル

広報委員 中川

中央公民館文化祭に日本語教室も参加!!

11月2日、3日10時～16時まで中央公民館の文化祭が開催されました。日本語教室が担当した第5集会室では、各国の色とりどりの文化が展示されました。韓国、台湾、ロシア、フランス、ベトナム、中国、インドネシア、タイ、イギリスやマレーシアのお国自慢や説明がなされ、ブラジルコーヒー、中国茶のサービス、そして韓国料理、台湾のビーフン、フランス風ピザやタイのデザートなどが振る舞われました。特に2日の最後は当日本語教室の生徒でもあるキューバのアルマンドさんご夫婦によるサルサの華麗なダンスが披露されました。会場全員で参加したサルサの基本ステップ練習では、汗だくになりながらも必死になっていたのが微笑ましく感じられました。

中央公民館文化祭への日本語教室の参加は歴史があ

るので、準備、進行、後片付けなどもてきぱきなされていました。また毎年この文化祭に来ては旧交を温め、日本語教室の卒業生と支援者との繋がりが見受けられるのもこうした機会があるからかもしれません。

広報委員 塚原



サルサステップの練習



出演者の説明に耳を傾ける会場の皆さん

お知らせ

<カリフォルニア州立大学への留学生を募集>

姉妹都市であるアメリカ・ハイワード市のカリフォルニア州立大学イーストベイ校への留学生（1年間）を募集します。

期 間：26年9月中旬～27年6月中旬

対 象：以下の全てに該当する人

- ①日本国籍を有し、市内に継続して1年以上住んでいる（大学生は市内の親元を離れていても可）
- ②平成6年4月1日以前に生まれ、高校を卒業している
- ③TOEFL525点（iBT71点）以上を取得
- ④協会の会員となり、協会の交流事業等に協力できる。

※詳細は、募集案内を参照。

募集人数：3名

受入学部：芸術、文学、社会科学、経済、教育、科学

選考方法：1次→書類選考、2次→英語・日本語の面接（2月16日（日））

申 込：1月31日（金）（必着）までに、所定の用紙を国際交流協会（〒273-8501※住所不要）へ

※用紙は、協会事務局で配布。または協会HPでダウンロード可。

あ と が き

地球温暖化阻止への対応の必要性は十数年前から言われているが、主要因の一つとされているCO₂排出削減は各国個々の事情で協調的な対応がスムーズに進んでいない。とりわけ、近年の堪え難いほどの猛暑や度重なる列島縦断的な台風来襲に伴う豪雨や竜巻等の多発に環境変動を感じられる方も多いと想います。北極海氷結面積も年々減り、欧州航路も近年では北極海廻りさえも一部現実化している。温暖化防止という命題に如何に立ち向かえば良いのだろうか？日頃の生活の中で地道にエネルギーの乱費を抑える配慮が第一歩の対応と想わざるを得ません。（K.I.）